

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321066	乳児保育Ⅱ InfantCareⅡ	黒谷万美子	✓	専門	1	選択	2前期

科目の概要

DP2.3に記載されている保育及び教育現場での課題に対する見識を深め専門的な知識と技術を身につけ社会に貢献することができる保育士の育成を目指す科目である。保育所において「乳児保育」の必要性や重要性が高い今日、それにともなった保育の質の向上が求められていることを知り、乳児保育の制度や基礎をとおして必要性、重要性を理解する。また保育士の専門性が求められていることを知り、乳児期の心身の発達をとおして乳幼児保育の倫理性を学び、人々の子育ての面からの支援をするために必要な知識を得る。保育園園長としての10年の経験を生かし保育園での子育て支援の現状を知らせる。

学修内容	到達目標
① 乳児保育の制度と課題について学修する。 ② それぞれの月齢の発達の違いを学修する。 ③ 保育所保育指針における乳児保育に課せられている内容を学修する。 ④ 乳幼児期の心身の発達を身体および運動、認知、人間関係、言葉とコミュニケーション、自己意識から深く学修する。 ⑤ 乳児の理解、実践例にみる援助の実際を知り、発達に適した指導案を作成することができる。	① 我が国における子ども子育てをめぐる現状を確認し乳児保育の課題を知り説明することができる。 ② 乳児保育について理解し具体的なイメージをもち保育方法について発表することができる。 ③ 保育所保育指針に準拠した実践の展開を理解し指導案を立案することができる。 ④ 乳幼児期の心身の発達を身体および運動、認知、人間関係、言葉とコミュニケーション、自己意識から理解し模擬保育を実践できる。 ⑤ 乳児の理解、実践例にみる援助の実際を知り諸問題の解決方法・対処法を発表することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自分の役割を明確にして課題に取り組み、新しく知ることに対して積極的学ぼうとすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	乳児保育の課題を追求しようとしたり、保育者に必要な専門性について考えることができるようにする
考え抜く力	課題発見力	
	計画力	
	創造力	講義で学んだことを実践で活かすためにどのようにするとよいか、と考えることが出来る
チームで働く力	発信力	自分の考えや意見、提案を積極的に発言することができる
	傾聴力	グループのメンバーの意見を聞き、話しやすい環境を作ることができるようにする
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	グループワークをとおして、集団活動が円滑に進むように、ルールを守り積極的に参加する
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

後日提示
適宜資料を配布

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:保育の内容・方法に関する科目であり、すでに学んだ乳児保育1を経て「乳児保育2」でこどもの発達をより一層深く学ぶ・内容については保育内容5領域の授業や保育原理・保育者論・保育所保育指針のねらいを参考とする。
資格との関連・保育士

学修上の助言	受講生とのルール
乳児に対する理解を深め、学んだことを講義ノートにまとめながら復習をする。 1年次に学んだ事を生かしながら、保育者としての専門性を人の成長を援助する仕事としての理解を深める。 グループワークに積極的に参加して、他者から出た意見や自分の意見をまとめ学びを深める。 課題提出方法についてはクラスルームを使用することもあるので授業内の指示に従うこと。	・積極的に授業に参加し、グループワークの際には円滑に行えるように努力する。 ・保育士の仕事は人の成長に大きく影響することを知り、自らが成長できるように課題を持って生活をする。 ・学内以外にも積極的に学んでいく姿勢を持つ。 ・携帯電話は必要とき以外は軸にしようとする。 ・積極的なグループワーク・発表準備を行う <注意>出席・授業態度では、3回遅刻で1回欠席、10分以上の遅刻や早退、居眠りは欠席扱い、更に5回欠席で-10点とする(1回につき-2点)。私語が多く再三注意を受けるなど受講態度が良くないときは、その授業の出席を認めない場合がある。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	レポート	50	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
		⑤	✓		
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
		⑤	✓		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに育児教育準備プロセスから発表までの一連の流れにおいて、社会人基礎力を発揮し自己評価・他者評価において全て満足できる評価が得られる。つまり乳児保育がすぐ実践できる能力に達していることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。</p>	<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに育児教育準備プロセスから発表までの一連の流れにおいて、社会人基礎力を発揮し自己評価・他者評価においてある程度満足できる評価が得られる。つまり乳児保育について一定の指導・研修後実践できる能力に達していることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 乳児保育の制度と課題 を学ぶ。	講義・DVD視聴	子ども子育てをめぐる 状況を理解する。 乳児保育の現状を知 る。	(予習) 乳児保育1の内容を振 り返る(第2章17) (復習) この学習を通して自分 が習得したいことをま とめる	120	主体性 創造力
2	乳児保育の基礎・乳児 保育の保育内容	講義・DVD視聴 グループ討議	乳幼児乳幼児について 具体的なイメージを持 てる。 乳児保育独自の課題を グループで話し合う。	(予習) 教科書の指定された箇 所を読んで授業に臨む (第2章18) (復習) 話し合った内容につい て自らの気づきを踏ま え講義ノートにまとめ る。	120	主体性 課題発 見力
3	保育の計画と乳児保育 保育士の専門性と実践 力について学ぶ。一人 ひとりの子どもの発達 を理解する取り組み	講義・DVD視聴 グループ討議	なぜ、計画が必要か エピソード記述から 「子どもの主体性」を 尊重する保育に視点を 置く	(予習) 教科書の指定された箇 所を読んで授業に臨む (第2章19) (復習) 園での生活のあり方、 保育士の援助のあり方 を探り講義ノートにま とめる。	120	主体性 課題発 見力 創造力
4	認知の発達・見る・聞 く考えること	講義・DVD視聴 グループワーク ワークシート	保育所保育指針に準拠 した実践の展開を理解 する。	(予習) 教科書の指定された箇 所を読んで授業に臨む (第2章20) (復習) 保育所保育指針を参照 しながら認知能力につ いてまとめる。提出は クラスルーム。	120	主体性 課題発 見力 発信力
5	乳幼児期の心身の発達 発達の過程と体験・遊 び・身体および運動の 発達について学ぶ。	講義・DVD視聴 ワークシートフィード バック	発達心理学の視点から 乳幼児の発達の變化に ついて理解する。	(予習) 教科書の指定された箇所を 読んで授業に臨む(第2章21) (復習) 身体の発育・成長を支えとし ながら、成長してきた身体器 官を使いこなすようになりつ つある運動機能について講義 ノートにまとめる。	120	主体性 課題発 見力 発信力
6	乳幼児期の心身の発達 認知の発達について学 ぶ。	講義・DVD視聴	「知覚」「記憶」「理 解」「思考」「判断」 などの「認知能力」と 「非認知能力」につい て考えまとめる。	(予習) 教科書の指定された箇 所を読んで授業に臨む (第2章22) (復習) 非認知能力における育 ちを支える保育の具体 案を考え講義ノートに まとめる	120	主体性 課題発 見力 発信力
7	乳幼児期の心身の発達 人間関係の発達につい て学ぶ。	講義・DVD視聴 ワークシート	人間関係の広がりとし 社会的遊びの発達につ いて理解する。	(予習) 教科書の指定された箇 所を読んで授業に臨む (第2章23) (復習) 生活や遊びを通して発 達する人間関係につ いて講義ノートにまと める。	120	主体性 課題発 見力 発信力
8	乳幼児期の心身の発達 言葉とコミュニケーション の発達について学 ぶ。	講義・DVD視聴 ワークシートフィード バック	言葉を話すということ を支える数多くの力に ついて知る。	(予習) 教科書の指定された箇 所を読んで授業に臨む (第2章24) (復習) 保育の場面を想像しな がら必要な援助や活動 内容を講義ノートにま とめる。	120	主体性 課題発 見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	乳幼児期の心身の発達自己意識の発達学ぶ。	講義・DVD視聴 グループワーク	玩具を使いながら発達における遊びの提案が乳幼児期の心身の発達に欠かせないことを理解する。	(予習) 教科書の指定された箇所を読んで授業に臨む(第3章25) (復習) 身体的「自己」の発見を通して自分の体を使って遊ぶ活動について考える。	120	主体性 課題発見力 発信力
10	乳幼児期の心身の発達を促がす遊びについて学ぶ。	講義・DVD視聴 グループワーク ワークシート	発達の学びから、指導案を考え発表する。	(予習) 心身の発達を促す玩具について調べておく(第3章26) (復習) 発表できるよう各々考えをまとめる発表の準備をする。	120	主体性 課題発見力 発信力 規律性
11	発達過程からみる保育の展開を考える 指導案からの保育の展開	講義・DVD視聴 グループワーク ワークシートフィードバック	発達の過程/体験と遊び/生活の援助を理解する。	(予習) 教科書の指定された箇所を読んで授業に臨む(第3章27) (復習) 私の視点からそれぞれの発達過程を理解し講義ノートにまとめる。	120	主体性 創造力
12	発達過程からみる保育の展開について 模擬保育	講義・DVD視聴 グループワーク	発達の過程/体験と遊び/生活の援助を理解する。	(予習) 教科書の指定された箇所を読んで授業に臨む(第3章28) (復習) 私の視点からそれぞれの発達過程を理解し講義ノートにまとめる。	120	主体性 創造力
13	実践例にみる援助の実際をそれぞれの場面から考える。 ・保護者連携 ・保健・安全	講義・DVD視聴 グループワーク 模擬保育	安心・安定 保護者との連携 守秘義務 保健・安全 について理解する。	(予習) 教科書の指定された箇所を読んで授業に臨む(第3章29) (復習) 具体的な援助方法を知り、ねらいや内容、配慮事項について自分なりにまとめ講義ノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 発信力 規律性
14	実践例にみる援助の実際をそれぞれの場面から考える。 ・生活習慣 ・確認	講義・DVD視聴 グループワーク 模擬保育	食事・排泄 睡眠 環境整備 清潔・着脱 について理解する。	(予習) 教科書の指定された箇所を読んで授業に臨む(第3章30) (復習) 具体的な援助方法を知り、ねらいや内容、配慮事項について自分なりにまとめ講義ノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 発信力 規律性
15	まとめ 授業の振り返りをしグループでの話し合いを円滑にさせ発表する。	オンデマンド配信	学びと反省・評価・改善策を発表し他のグループの意見を聞き、評価したり尊重することができる。	(予習) 発表の準備をする(第3章30) (復習) 他のグループの発表内容を講義ノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力